掲載日 9月20日　9月18日5校

広 告

2012 education 対談

「観光立国」を推進する日本に求められる観光をマネジメントできる人材の育成

今やわが国の成長戦略の大きな柱となる「観光」。国土交通副大臣時代に観光立国の推進に尽力し、現在も主要な政策のひとつに観光の振興を掲げる衆議院議員の辻元清美さん、そして観光学に特化した神戸夙川学院大学を擁する学校法人夙川学院理事長の藤田幸男さんに広く観光をテーマに語っていただいた。このお二人、その出会いをとりもったのはNGOのチャレンジだった。

学校法人夙川学院
藤田幸男理事長

1962年早稲田大学大学院商学研究科博士課程満期退学。68年米国イリノイ大学大学院会計学専攻博士課程修了（Ph.D.商学博士）。72年4月から94年3月まで早稲田大学商学部教授を務めた後、早稲田大学名誉教授。その後、学校法人芝浦工業大学理事長、学校法人追手門学院常任監事を歴任し、2012年8月、学校法人夙川学院理事長・院長、並びに中学・高等学校の校長に就任。新生夙川学院をリードする

衆議院議員
辻元清美さん

大阪10区（高槻・島本）選出。早稲田大学在学中にピースボート設立、約60カ国で民間外交を展開。1996年初当選。2009年国土交通副大臣に就任。JAL再建や羽田の国際線就航、関空・伊丹統合などを実現。11年ボランティア担当首相補佐官として被災者支援、再生可能エネルギー推進法制定や浜岡原発停止に尽力。現在、与党国交政策責任者として観光立国に取り組む

日本を取り巻く閉塞感を観光の振興で元気に突破しましょう

NGOのノウハウを留学に活用

藤田　辻元さんは、大学時代に民間交流団体ピースボートを設立されました。あらためてお聞かせ願いたいのですが、どういった思いからの行動だったのでしょう。

辻元　ピースボートは「みんなが主役で船を出す」を合言葉に、人と人が交流する、文化や歴史を知る、平和を創っていく。そうしたことを実際に行動で示そうとしました。当時はまだ冷戦時代で、厳しい国際情勢だからこそ、民間の草の根交流が必要だと考えていたんです。

藤田　それが大きな成功を収め、今日まで続いているわけですね。

辻元　船の中ではいろんな出会いがあり、様々な勉強もします。訪れる国々でも観光地だけではなく、カンボジアの孤児院に行ったり、アジアの戦争体験者の方の話を聞いたりと、その国の持つ様々な問題を解決しようと活動している方々との交流プログラムを組んだんです。

藤田　実は、神戸夙川学院大学では、この度、ピースボートと提携させていただきまして、世界一周留学プログラムを始めたんです。

辻元　へぇ、そうなんですか。

藤田　夙川学院は5年前、「観光文化学部」という一つの学部で、観光学の研究に特化した大学をつくりました。それが神戸夙川学院大学です。この留学プログラムでは、85日間の洋上学習と寄港地での学習の中で得られる、いろんな方々との出会い、そして交流を観光学の勉強に生かしていければと考えているんです。

辻元　交流は、イコール観光なんですよね。

異文化に触れる体験を

藤田　私自身も、多くの国の文化や生活、歴史を学び国際理解を深め、それぞれの国の多様性を認めるための一つの手段が観光であると考えています。多様性を認めない限りは世界から争いは無くならないでしょう。

辻元　私は国土交通副大臣のときに、日中韓観光大臣会合に出席し、互いに観光立国を築くための道筋を議論しました。その時に韓国や中国で、人を育て、違う文化に触れるという意味でも、観光は大事と認識されていると実感しました。また観光は、近隣諸国の対立を乗り越えていく大きなプラス材料になる。だから私は、日中韓の観光交流、観光大臣会合は、どんなときでも続けましょうと言い、アジアのマーケットに集中して政策を打ったのです。当時中国では北海道が舞台の映画が大ヒット中でした。そこでまず高額所得者に限定していた中国人個人観光客のビザ要件を、続いて限定されていた新千歳空港への中国機乗り入れ時間を、省庁の縦割りの壁を突き破って緩和しました。結果、アジアからの訪日観光客数が過去最高に。しかし今、近隣諸国との間で緊張が生まれ、私たちも対応に追われています。ツアーのキャンセルなどが相次ぐ状況は本当に残念ですが……。

地域活性化の起爆剤に

藤田　国土交通副大臣の時に、観光立国推進本部事務局長もお務めになりましたね。

辻元　現在の日本、とくに地方は閉塞（へいそく）感があって経済も苦しい。観光振興がそこを突破する起爆剤になるのでは、と国を挙げて取り組んだのです。土地の特徴を生かした観光拠点を創造していこう、と。たとえば若者の都会流出に悩む北海道の漁村で、NPOが漁業体験と観光をセットにしたツアーをつくり、がんばっているケースもあります。多くの人が来ておいしいものを食べ、温泉につかる。村の人も元気になる。災害ボランティア担当の首相補佐官のときは、とにかく被災地に仕事をつくろう、とボランティアと観光をセットにした「ボランティアツアー」を広めました。これも岩手の旅館の若いスタッフといっしょに企画したんです。とくに女性限定ボラツアーは大好評。こうした観光を起爆剤にした地域振興を応援していこうと思います。

文化の多様性を学び国際理解を深める教育を実践

遅れている人材育成

辻元　ただ、町おこしの起爆剤になるような観光を創造するためには、観光をマネジメントできる人が必要なんです。

藤田　そのとおりですね。

辻元　ところが残念ながら日本では、人材育成が不十分でした。欧米では戦前からホテルやレストランなどホスピタリティー産業のための職業教育が盛んで、アメリカやイギリスでは観光を学問のみならず、インターンシップを通してマネジメントの実務まで教える大学が根づいています。社会人教育も熱心ですね。アジアではオーストラリアや韓国が力を入れています。私は、観光立国をめざすのであれば、人材育成、教育が大事だと政府に進言してきました。

藤田　これはご指示をいただいたわけではないんですが（笑）、来年4月には、現在の「観光文化学科」に加えて、「観光マネジメント学科」を新設します。新学科では観光産業のプランニングをはじめ、広くマネジメントや経営面まで勉強できるようになります。

辻元　次世代の観光産業のリーダーを養成する時に、海外に行かないと学べないというのは大きな問題。観光政策を責任をもって推進する立場から、観光教育には今後も力を入れていくべきだと考えています。

藤田　観光立国は、政府の政策の柱ですが、民間の活力を結集しないと、なかなかそれを成功させるのは難しいと思われます。本学で観光に携わる人材を教育することを通じてお役に立てればと思います。

高校生の「観光甲子園」

藤田　本学では、若い世代の方にもっと観光に関心を持っていただこうと「全国高校生観光プランコンテスト（観光甲子園）」の事務局をさせていただいています。今年で第4回ですが、約80校に参加していただきました。

辻元　面白そう！

藤田　高校生が主体となってつくった、実際に商品化をめざせる「地域観光プラン」を募集するコンテストです。プランを拝見すると、高校生と思えないような発想があるんです。

辻元　若い、しかもそのまちに育った人だから生まれる発想があるんですね。

藤田　こういうイベントを通して、高校生にも観光とは何か、それが日本にとって、自分たちの生き方にとってどういう意味があるのかを考えていただきたいという期待を込めて始めたわけなんです。

辻元　最近、若者たちの旅離れということが言われています。ちょっと内向きになっているのではないかと。これは日本の教育にとっても非常にマイナス。私は学生時代から議員に就任するまで世界中を回っていました。それで思うのは、やはり観光、人との交流には夢があるということです。できるだけ若い時代に、夢を持って、世界でいろんなことを吸収するために旅に出て欲しい。それは、これから日本が社会をよりよくしていくためにも大事なことだと思います。

教育を通じた貢献を

藤田　今、教育というお言葉がありました。私は理事長として、観光文化学部としての専門性は言うまでもないですが、それだけではなく、アメリカの大学でいうところのリベラルアーツ的な要素、すなわち教養を広める。それからもう一つ、国際的な舞台に出ていく学生たちですから、外国語の力を伸ばす。その2点を重点的に考えて、あらためて大学づくりに取り組んでいこうと考えているんです。

辻元　私も今、次世代の人たちの育成に政策を総動員していかなければいけないと考えます。イギリスのブレア元首相も、教育、教育、教育と言いました。私も日本に今必要なことは、教育、教育、教育だと思いますね。

藤田　観光立国の基本にあるのは、教育立国だろうということですね。

辻元　そうです。

藤田　現在、夙川学院には、児童教育学科を持つ夙川学院短期大学がありますが、来春には大学のある神戸ポートアイランドキャンパスへ移転し、男女共学化を図ります。これら高等教育部門の連携強化もあわせて、夙川学院でなければできない教育、個性的な教育の確立をめざして頑張ってまいりたいと思います。

辻元　私は官民連携で日本の技術のトップセールスもやっています。同時に日本の観光資源をしっかり「営業」していきますね。

学校法人 夙川学院

神戸夙川学院大学
兵庫県神戸市中央区港島1-3-11　TEL：078-940-1154
http://www.kobeshukugawa.ac.jp

夙川学院短期大学
兵庫県西宮市甑岩町6-58 TEL：0798-73-3755
http://www.shukugawa-c.ac.jp
※2013年4月から神戸ポートアイランドに移転

夙川学院高等学校
兵庫県西宮市神園町2-20 TEL：0798-74-5061
http://www.shukugawa.ac.jp

夙川学院中学校
兵庫県西宮市神園町2-20 TEL：0798-74-5061
http://www.shukugawa.ac.jp

夙川学院短期大学付属幼稚園
兵庫県西宮市神園町2-20 TEL：0798-74-6455
http://www.shukugawagakuin-youchien.ed.jp